

Governor's Monthly Communication

Contents

- | | |
|------------------------------|--|
| 1 地区ガバナーメッセージ | 15 松田PGのご逝去を悼んで
第5・6回諮問委員会、第4回ガバナー補佐会 |
| 2 地区代表幹事退任挨拶 | 16 玉島RC創立50周年 |
| 3 ガバナー補佐退任あいさつ | 17 岡南北西RC創立25周年 |
| 8 ソウル国際大会に参加して | 18 岡山西RC創立55周年 |
| 9 日台ロータリー親善会議に出席して | 19 岡山旭川RC創立25周年 |
| 10 RYLA、第39回ローターアクト地区大会 | 20 地区財団活動資金使用報告 |
| 11 青少年交換・派遣学生壮行会・
受入学生送別会 | 21 地区だより |
| 12 地区世界社会奉仕事業報告 | 28 RI表彰、ロータリアンの皆さまへ |



世界への
プレゼントになろう

2015-16年度
国際ロータリーのテーマ

2015-16年度 国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン
2015-16年度 地区ガバナー 佐藤 芳郎

感謝・感謝・感謝です!!

「あいことばは
Enjoy Rotary」

国際ロータリー 第2690地区
2015-16年度 地区ガバナー
佐藤 芳郎
Yoshio Sato

今、2015-16年度の終了にあたり、地区内66クラブの皆さまに、この一年半の間大変お世話になったことに対して御礼を申し上げたいと思います。2014年12月の次期クラブロータリー財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー、壮行会に始まり、PETSと地区研修・協議会等の年度開始前の諸行事、2015年7月からの公式訪問と地区大会、6回のIMや周年行事とその他の諸行事に、地区内多くの会員の方々にご参加いただき、それぞれ盛況裏に大成功を収めることができましたのは、ご参加いただきました皆さまと準備と運営・進行にご尽力いただきました皆さまの心温かいご協力の賜であります。特に、台湾から楊RI会長代理をお迎えしての地区大会には、地区内外2千人を超える会員・ご家族のご登録をいただき、大盛況の地区大会を開催することができました。同期の他地区ガバナーから、おもてなしに心のこもった

素晴らしい地区大会であったと絶賛してもらい、非常に誇らしかったことをご報告して皆さまへの御礼とさせていただきます。また、地区大会ではご参加の一人おひとりと握手をさせていただくことができました。その際の、皆さまの手の力強さ・温かさは一生忘れられない、記憶に残る出来事となりました。誠にありがとうございました。

私は、本年度ことある毎に、RI年度テーマ「Be a gift to the world」を実現するには、一人ひとりのロータリアンがロータリー活動に積極的に「参画」し、「相互理解」が進み、ロータリーを「楽しみ」、奉仕を「実践」し、ロータリーの「良さ」を実感し、ロータリーを「好き」になることが大切と考え「あいことばは Enjoy Rotary」と提唱しました。「ロータリーは100人100色」と言いますから、自分の信じるロータリーを見つけ、それを実現してロータリーを「好き」になっ

たロータリアンは、必ずや熱意と愛情を持って自分自身が「gift」になり、「奉仕の理念」を共有できる友人を誘って増強を図り、浄財のご提供により「ロータリー財団の基盤強化」にも貢献してくださると信じたからです。

その結果、地区内66クラブ、3千人強のロータリアンが、地区ガバナーの自分勝手な「夢」を叶えてや

ろうと力を貸してくださいました。そして、今年度が地区内各ロータリアンお一人おひとりにとって「記憶に残るよい年度」となり、クラブと地区の歴史と文化創りに素晴らしい一ページを描き加えられたと思います。ロータリーをEnjoyし、好きになられ、奉仕にご尽力されました皆さまに、改めて心より深く御礼を申し上げます。



地区運営を振り返って

地区代表幹事 塚本 博視

6月末をもちまして佐藤芳郎地区ガバナー年度が終了いたしました。

振り返ってみますと、2013年の年初にはガバナー年度の地区大会の開催日を決め、開催場所の確保に動き始めたことを思い出します。

地区ガバナーノミニ・デジグネートに就任以来ガバナー年度終了まで“Enjoy Rotary”をあいことばに佐藤地区ガバナーの卓越したリーダーシップと、ロータリー活動への熱い情熱のもと、長年に渡る豊富なご経験と全国各地の多岐に渡る人脈をお持ちの延原正パストガバナーに研修リーダーをお務めいただき、いろいろな局面で温かいご指導・ご示唆を賜りながら何とか大役を全うすることができました。

本年度は「地区会員増強セミナー」と「地区ロータリー財団セミナー」を前倒して5月末の地区ガバナーエレクトの年に開催し、7月からの地区ガバナー年度のスタートに備える体制を取らせていただきました。これにより、佐藤地区ガバナーは67クラブの公式訪問に専念され、地区ガバナー事務所は地区大会

開催に向けて比較的早くから準備に取り組めたと思います。

地区大会に関しては、すでに配付させていただいております「地区大会報告書」のとおりでございますが、浅田昭治実行委員長、貴田茂総括責任者、伊澤正信・大岩道典両副実行委員長のもと岡山南ロータリークラブの皆さまとコ・ホストクラブの方々にたいへんお世話になり、初めての試みとして、RI会長代理歓迎晩餐会と並行して前夜祭を開催いたしました。

地区ガバナー事務所運営につきましては、木下素希・小川健両地区副代表幹事、永山久人・延原正浩両地区庶務幹事にあらゆる面でサポートをいただき、超ベテラン坂本そして新人檜崎両事務局員には少ない運営予算のため、ほとんど二人体制で忙しく頑張っていたことにもお礼を申し上げます。

私にとってはまさに記憶に残るこの数年間になったことに第2690地区全会員の皆さまに心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

ガバナー補佐退任挨拶



第1グループ
野間田 節雄
(倉吉東RC)

一昨年12月より1年7カ月無事ガバナー補佐としての役割を終えることができました。これもひとえにグループ内各クラブの会長、幹事をはじめ会員の皆さま方のご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。その間ガバナー補佐としての研修、セミナー等に参加し、昨年7月よりそれぞれのクラブ協議会、例会に訪問させていただきクラブの運営方針、活動計画を聞かせていただきました。

いずれも佐藤地区ガバナーの提唱されました「あいこ

とばは Enjoy Rotary」、第2690地区目標もクラブの特徴ある運営、活動により、ほぼ達成できました。特にクラブの活性化には欠かせない会員増強も満足できる結果ではなかったかと思います。この一年間ガバナー補佐として、いろいろな新しい出会いがあり、その中からロータリアンとしての基本的な考え方、奉仕活動の積極的な参画等たくさんのことを学ぶことができました。私にとりましては、本当に「記憶に残るよいロータリー年度」になりました。今後はこの経験を生かして、ロータリー活動に取り組んでいきたいと思います。

ありがとうございました。



第2グループ
杵村 優一郎
(米子RC)

当初告白したとおりで、今も変わりませんが、私は模範的なロータリアンではありません。RIにも精通しておりません。

そういう者が、一年間ガバナー補佐を務めてしまいました。関係者の方々には迷惑だったと思いますが、私個人は、貴重な経験を

しました。

第2グループ5クラブの会員の方々には訪問のたび

に温かく迎えていただきました。

会員増著しく元気いっぱいのクラブ、少人数ながら家庭的で居心地の良いクラブ、女性会長を中心にまともな節目の年を迎えたクラブ、若い力で疲弊感を打破したクラブ、それぞれに好ましいクラブでした。

次年度はこのグループから庄司尚史地区ガバナー(境港RC)を輩出します。全員心をひとつにして地区を盛り上げていけると確信しています。

不束者にいただいた厚い情に深く深く感謝申し上げます。



第3グループ
米田 則雄
(松江東RC)

ガバナー補佐の1年間、研修期間の1年間、合計2年間の任期を終えることができました。研修期間には地区チーム研修セミナー、地区研修・協議会などいろいろな場で勉強ができ、このことはガバナー補佐としての活動の基となりました。

佐藤地区ガバナーはRIテーマを掲げるとともに、「記憶に残るロータリー年度にしよう」「あいことばはエンジョイ・ロータリー」とされました。地区目標を達成すべく、第3グループ内の各クラブと地区を繋げられるよう努めました。公式訪問を前に第3グループの5RCを例会訪問し、またクラブ協議会に出席・意見交換をし

ました。松江市内には4クラブ合同例会が年2回あり懇親を深めております。その節にも地区の活動を報告しました。各クラブそれぞれ特色があり、会長のもと工夫しながら有意義な活動をしておられ、いずれも素晴らしい歴史と伝統を伝承しておられます。

第3・第4・第5グループの合同IMは出雲中央ロータリークラブのホストで行われました。「温故知新」出雲文化がロータリアンに託すもの…をIMテーマに盛大に行われました。この時には第3グループから佐藤地区ガバナーより2名が特別表彰を受けました。

一年間、地区の皆さま、グループ内各クラブの皆さま方のご支援とご協力ありがとうございました。感謝申し上げます。

ガバナー補佐退任挨拶



第4グループ
岸 篤彦
(出雲中央RC)

ガバナー補佐在任中のことを振り返ってみますと、ガバナー補佐会、PETS、地区研修・協議会、クラブ協議会への訪問、地区大会、クラブ例会訪問、周年行事、会長幹事会、IMの主催、国際大会への参加といったことが心に浮かんで参ります。

その中でも、第3・第4・第5グループ合同のIMは、第4グループの担当で、県内15クラブのロータリアンの皆さまをはじめ、ホストクラブの出雲中央クラブ、コホストクラブの出雲、大社、出雲南、平田の各クラブの会長、幹事、会員の皆さまには、特段のお力添えをいただき、厳粛ななかにも和やかなIMを盛会裡に終えることができましたことは、印象深く、記憶に残るものとなりました。

また、本年度の国際大会は、隣国のソウル市内の「KINTEX」で開催され、ラビンドランRI会長の開会宣言、国旗入場式、パン・ギムン国連事務総長のご挨拶など

の後、クラブの会員と「友愛の家」を散策中、佐藤地区ガバナーと偶然出見え、ガバナーには、クラブの会員とともに写真に収まっていただきました。

滞在日程も大詰めを迎え、金浦空港へ向かう途中、これまた偶然「Good luck to you」のシールを張った車が併走しているのに気づき、車のオーナーのほんのりとした温かさに触れることもでき、国際大会へ参加してよかったという思いを一層強くいたしました。

このような、数々のロータリーのプログラムは、佐藤地区ガバナー、各グループの補佐の皆さま、グループ内の会長、幹事、会員の皆さまのご支援、ご協力あってこそ実現できたものであり、感謝の気持ちで一杯でございます。また、私の心の中に、「記憶に残るよい年度」を形作るものとなりました。

ガバナー補佐在任中賜りました、ロータリアンの皆さまの真心に深謝いたしますとともに、第4グループクラブのますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝をお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。



第5グループ
高橋 和男
(益田RC)

2014年の10月6日付けで、第2690地区佐藤芳郎地区ガバナーエレクトより次期ガバナー補佐への委嘱状が届き、10月8日に厳粛な面持ちで「承諾書」を送らせていただいたことを思い出します。第1回次期ガバナー補佐会は12月14日岡山コンベンションセン

ターで10時30分から開催されることから広島に前泊し、補佐会ではガバナーエレクトより補佐の任務や内規等をはじめ、今後の諸会議に行事予定やセミナー等々説明や報告があり、第2690地区11グループ11名の補佐の皆さまとの初めての顔合わせでもあり、私なりに緊張して諸事項を拝聴したものです。とりわけ、次期

研修リーダー延原正パストガバナーからは補佐はガバナーの代理ではない、補佐に徹するよう指導されたことが印象に残ります。2015年7月からの1年間、国際ロータリーテーマと地区合い言葉を体して岡山での補佐会や諸会議に参加をとおして、自分なりに「Enjoy Rotary」ができたと思います。また、今年の4月から米山記念奨学生で島根県立大学4年生の許文嘉さんのカウンセラーを引き受け、引き続き多くのロータリアンとの出会いも増えました。今後もあせらず奢らず、ロータリアンとして品位を保ちつつ研鑽を続けていきたいと思ひますし、ガバナー補佐を経験させていただいた佐藤年度の1年間は、緊張のうえにも充実・エンジョイできた「記憶に残るよい年度」でした。

ガバナー補佐退任挨拶



第6グループ
鈴木 紘一
(笠岡東RC)

RI2690地区2015-16年度佐藤芳郎地区ガバナーの補佐を拝命し、2015年7月1日高梁RCを皮切りに井原RC、笠岡RC、玉島RC、総社RC、総社吉備路RC、新見RC最後に笠岡東RCと各クラブの協議会に出席をすることで補佐としての活動を開始しました。各クラブとも会員数の多少を問わず、各委員長さんが年間の計画およびその内容を丁寧にしかも熱のこもった報告をしてくださいました。

10月4日には第2690地区佐藤芳郎地区ガバナー主催の地区大会に出席。初めて大会の裏舞台での出席でした。盛大に執り行われ感激でした。その後2回目の各クラブの訪問を開始しました。K.R. “ラビ” ラビンドランRI会長テーマの「世界へのプレゼントになろう」、そして第2690地区佐藤芳郎地区ガバナーの「あいことばはEnjoy Rotary」のもと地区目標(RI会長賞チャレンジ、ロータリー財団、米山記念奨学会、公共イメージ向上、ソウル国際大会登録)への積極的参画をお願いしました。

補佐のもう一つの仕事として会長・幹事会を7月と11月に開催してガバナー補佐会でのガバナーよりの伝言を伝えました。2016年3月20日に佐藤芳郎地区ガバナーの補佐への依頼事項の一つ、IMを「ロータリーを学び詰めよう」のテーマのもと笠岡東RC会員全員の協力で開催しました。基調講演では岡山南RC会員、太陽綜合法律事務所代表の近藤弦之介先生に「職業奉仕とは何か」を主題にロータリーの原点、利己と利他の関係などをお話していただきました。特別講演として岡山盲学校講師の竹内昌彦先生にご体験を通してお話をいただきました。参加者全員深い感銘を受けました。5月8日には佐藤芳郎地区ガバナーともども盛大な玉島RC創立50周年記念式典に招かれました。5月29日にはソウル国際大会に出席しました。多数の地区大会が同時に開催されたかのように感じ、驚きでした。

ガバナー補佐として一年間を振り返りまして感じたことは自クラブ以外で7クラブもの各RCを訪問でき、各クラブのロータリー活動への熱い思いを目の当たりに体験でき、非常にありがたく感じました。この貴重な体験を今後のロータリー活動に生かせたらと思います。



第7グループ
藤原 健一
(児島東RC)

一昨年の12月、ガバナー補佐を受諾して1年半になります。

次期ガバナー補佐会、次期ロータリー財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー、クラブ会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会、次期地区会員増強セミナー・ロータリー財団合同セミナーに参加しました。ロータリークラブに精通していない私にとっては、非常に苦痛に感じました。ガバナー補佐は、各クラブに年間に、4回以上訪問をしてくださいと言われ、非常にプレッシャーを感じたものです。

ガバナー補佐便覧に基本的行動のマニュアルを参考にしながら、ガバナー補佐就任の挨拶に各クラブの訪問が始まり、各クラブのクラブ協議会に参加し、報告書をガバナー事務所に提出し、ガバナー公式訪問の参考

資料を作成いたしました。〈ロータリークラブの公共イメージの向上〉という佐藤地区ガバナーの目標にそって、エフエムくらしきのご協力により、各クラブの会長・幹事様と、“ロータリー通信”30分番組を8回放送しました。9回目は佐藤地区ガバナー・塚本地区代表幹事をお迎えしてのスペシャル版の放送で締めくくりました。

最大のイベントは1月31日のIM(インターシティ・ミーティング)でしたが実行委員長、その他、会員の皆さま方のご協力で無事に開催することができました。

ロータリークラブセントラルより、各クラブの評価もさせていただきます。5月28日よりソウルで開催の国際大会に参加しました。大阪大会以来の参加でしたが、スケールの大きさにはビックリでした。

佐藤地区ガバナーの合言葉〈あいことばはEnjoy Rotary〉は、私にとっては？です。〈記憶に残るよいロータリー年度〉は○です。

ガバナー補佐退任挨拶



第8グループ
田口 太馬男
(津山中央RC)

2015-16年度のガバナー補佐を務めさせていただきました。6月末をもって無事任期を終えることができました。一昨年の12月よりガバナー補佐として研修を受け、勉強し理解したつもりが殆ど頭の中には残ってはなく、不安の中クラブ訪問となりました。

昨年の7月より第8グループ5クラブを訪問させていただきました。会長さま、幹事さまをはじめ会員の皆さまには、温かく心よく迎えていただき感謝いたしています。各クラブの事業計画、現況説明、例会の進行、どのクラブも凛とした雰囲気、歴史と伝統、継続は力なりに魅せられました。各クラブ会員数は違いますが、どのクラブも地域内で素晴らしい奉仕活動を実践されてお

られます。感謝、感謝です。

第9グループガバナー補佐秋山様、岡山後樂園RCの居森会長様、鳥越幹事様、由良IM実行委員長様のご協力により、合同IMの実施に1年掛けて作り上げた企画が(あいことばはEnjoy Rotary)大成功に終わり大変感謝しています。ありがとうございました。

佐藤地区ガバナー様、延原パストガバナー様、塚本地区代表幹事様をはじめ地区内11名のガバナー補佐様と親しく語り合い親睦を深めることができました。この一期一会の出会いは、小生にとって一生の財産となり、今後のロータリー活動、地域での奉仕活動に生かしていきたいと思います。

最後に無事任務を終えることができたのは、津山中央ロータリークラブの皆さまのおかげと感謝いたします。ありがとうございました。



第9グループ
秋山 義信
(岡山後樂園RC)

2014年12月14日(日)第1回次期ガバナー補佐会が開かれ、ガバナー補佐としての活動が始まりました。「大変でしょう」と皆さんから言われましたが、やるからには「Enjoyしよう」と決めました。そう思うと活動が楽しくなり、記憶に残るガバナー補佐年度となりました。

印象に残った4つのことを述べます。

第1に、訪問先クラブで、会員の皆さまとの出会いと交流があり、クラブの歴史・文化など多様性を学びました。例会・クラブ協議会の運営の仕方、クラブ運営計画書の内容など、わがクラブと比べると参考になる点が多くあり、大いに勉強になりました。またどのクラブも温かく迎えてくださったことに、感謝いたします。

第2に、盛大に地区大会が開かれ、ガバナー補佐として出席したことです。本大会の壇上で佐藤芳郎地区ガバナーとの握手タイム、記念講演、他クラブ会員との交流、懇親会など、2日間にわたり大会を楽しみました。

第3に、第8・第9グループ合同IM(2016.3.5)は、参加者の皆さまと一緒にエンジョイしました。特に大藤剛宏先生の記念講演「命のリレー—臓器移植の現状とこれから—」は、参加者全員が大変感激しました。バズセッションは、「Enjoy Rotary—ロータリーを楽しんでいますか?—」のテーマの下、佐藤芳郎地区ガバナーをはじめご来賓の皆さまも加わるなど、全員で討議しました。懇親会を含め、参加者の皆さまからお褒めいただき、ホストクラブ(津山中央・岡山後樂園)にとって準備の苦勞が報われました。

第4に、ソウル国際大会をエンジョイしたことです。開会式ではオリンピックの開会式にも似たような各国・地域の旗が入場し、ロータリーの長い歴史と地球的広がりを感じました。初めてロータリーの国際大会を体験できたことは何よりでした。

最後に、地区役員の皆さま、同期のガバナー補佐の皆さま、第9グループ各クラブの皆さま、そして終始サポートしていただいたホームクラブ(岡山後樂園)の皆さまと事務局に、心より感謝申し上げます。

ガバナー補佐退任挨拶



第10グループ
榎田 正則
(玉野RC)

第2690地区第10グループの皆さまへ退任にあたりまして一言お礼を申し上げます。

若輩な私ですが一年間ガバナー補佐の役職が務まったのは、佐藤地区ガバナー、塚本地区代表幹事、第10グループの会長、幹事、各クラブのメンバーの協力

があったからこそと考えています。

佐藤地区ガバナーが提唱された「エンジョイ・ロータリー」、この言葉を思い返しながら第10グループの各クラブを訪問いたしました。

クラブ例会、協議会と議事が進んでいきますが、各クラブともロータリーを楽しもう、そして奉仕活動に積極的に参加しようといういろいろな企画を考えて、私も非常にありがたい経験をさせていただき大変、勉強になりました。



第11グループ
小林 茂則
(岡山丸の内RC)

第11グループガバナー補佐退任にあたりご挨拶申し上げます。佐藤地区ガバナー、塚本地区代表幹事、そして11グループ6クラブの会長・幹事をはじめ各委員長の皆さまには大変お世話になりました。無事に任期を終えることができたのも皆さまのおかげです。

感謝申し上げます。

2014年12月14日に、地区ガバナーエレクト壮行会があり、その日に第1回ガバナー補佐会が開催されました。1年6カ月ほどの期間でしたが、振り返ってみると、長かったようでもあります。K.R.ラビンドランRI会長の「世界へのプレゼントになろう」のテーマのもと、佐藤地区ガバナーの「あいことばはエンジョイロータリー」を実践すべく「クラブの活性化」「会員増強」のため、ガバナー補佐として活動いたしました。力不足のところもあり、皆さまに十分なことができたかどうか不安なところもあります。ガバナー補佐就任にあたり、私自身もう一度ロータリーの勉強をしなくてはと考え書籍等を読みロータリーについて深く考えることになりました。

6クラブを順次訪問し、例会そしてクラブ協議会に参加させていただきましたが、各クラブそれぞれ特徴が

した。

また、県南18ロータリークラブ正副会長・幹事会に呼んでいただき、会長幹事の皆さまと親しくさせていただいたのも良い思い出です。

IMは、第10グループと第11グループの合同の開催でした。「地域のためのロータリー事業発表」を6クラブにお願いしました。各クラブとも地域のニーズを的確に掴み地域の人々と一緒に活動していることに感動しました。

初めて国際大会に参加し本会議のスケールの大きさに感動し、第2690地区ナイトには、出席者の皆さんと楽しい時間を過ごさせていただきました。

最後になりましたが、第10グループの皆さまには大変お世話になり、今後はこの経験を生かしていきたいと思います。

大変ありがとうございました。

あり、いろいろと努力されクラブを運営されているということがよくわかりました。

また、ロータリークラブを広く理解してもらうため、FMラジオに11グループの各会長に毎月順番に出演していただき、30分間ではありましたが、各RCの歴史や活動状況をお話していただくことができ「公共イメージ向上」に貢献できたと思っています。

第10・第11グループのIMは「地域のためのロータリー」というテーマのもと、玉野RC、岡山丸の内RC会員の皆さま方のおかげで大成功に終わりましたこと、本当にありがとうございました。

また、本年度は、国際大会が隣国の韓国で開催され、各クラブとも多数の皆さまと一緒に国際大会に参加してまいりました。

国際大会の開会式ではもちろんのこと、前日に開催されました第2690地区ナイトも多数のメンバーの参加もあり、記念になる催しでした。

ガバナー補佐在任中は、岡山丸の内RCはもとより、各RCの皆さまにいろいろとお世話になり、温かく接していただきありがとうございました。各クラブのますますのご発展と会員各位のご健勝ご多幸を心より祈念しお礼と退任の挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

ソウル国際大会に参加して

国際大会推進副委員長 延原 正
(パストガバナー・岡山南ロータリークラブ)



2016年国際大会が韓国ソウル市にて、2016年5月29日より開催されました。

わが第2690地区は登録者数509名、実参加者数約300名での参加でした。隣国韓国での開催でもあり精一杯の協力をとの方針で頑張った結果であります。本会議はRI会長の開会宣言によりはじまり、国連事務総長等多数の方々のお話があり、次いで国旗入場式に移ります。この会場は、後方の席より舞台を見ると登場人物は小さくてよく見えないぐらい大きな会場でした。参加国の国旗が整然と万雷の拍手のもとに入場して来ます。日の丸の旗が見えると我々は立ち上がり大拍手であります。この行事が一番感動的でおかつ国際ロータリーを感じるシーンであります。次

いで歓迎の辞です。小沢一彦共同代表委員長が「開会の点鐘」を打たれて大拍手でした。まずはこれまでと[友愛の家]に移動します。これがまた遠くて、大変でした。集合時間が迫り、そこそこにして離れます。翌日は空港集合時間まで自由行動なので、橋本パストガバナー(倉敷RC)と2人で大会2日目に参加しました。RI元会長の紹介…懐かしい方たちの中に田中作次さんもみえました。ジョン・ヒューコ、RI事務局長のスピー

チを聞くことができました。

どうかロータリアンの皆さま一度は国際大会に参加されますことをお勧めいたします。私の大会初参加は、1994年の台北大会です。次は2004年大阪大会次いで2005年のロータリーの100年を祝うシカゴ大会。8大会に参加しましたが、2010年のモントリオール大会は1人旅でボストン経由で参加、すべて思い出一杯の旅でした。多分、ソウル大会が最後でしょう。皆さまが私と同じようにロータリーの国際大会を楽しめますようにと心から祈念いたし、そして肝心なことは自分たちは「国際ロータリーのメンバーである」ことをお忘れなくと願い、そして…「これでお終い」です。



日台ロータリー親善会議に出席して 地区ガバナー 佐藤 芳郎



2016年
6月5日、金
沢にて第5
回日台ロー
タリー親善
会議が開催
されました。

当日は台湾から約300人、日本の34全地区から約700人が出席して、総勢1千人と大盛況でした。過去には2008年に東京で第1回が、その後2009年に台湾で、2012年に京都で、2014年に台北で第4回目を開催しました。日台両国の信頼のきずなをより深めるために、ほぼ隔年に両国持ち回りで開催されています。金沢は1930年に大変な苦勞の末に、台南地域の洪水防止目的の烏山藤ダムを完成させたことで、台湾で尊敬されている日本人技術者八田與一氏の生誕地であることから選ばれたそうです。折から金沢百万石まつりで街は大混雑でしたが、会議参加者は存分に日本情緒を楽しめたことでしょう。

私は、昨秋の地区大会にRI会長代理としてご来岡されたRI第3500地区楊PDG(桃園東RC)とお会いして御礼を申し上げることと、同期のRID2610柳生DGが実行委員長を、またRID2580鈴木DGが議長を務めていることの応援を兼ねて出席しました。同期ガバナー25名強が参加し、さながら同期会の様子を呈し、和やかに金沢のおもてなしと旧跡と食を楽しみました。当RID2690からは、渡辺PRID他総勢7名の登録がありました。

会議では日本と台湾から井戸を掘られた諸先輩や役員がご挨拶され、杉谷RI理事はご挨拶の中で、熊本震災に対する物心両面での支援に丁寧な御礼を述べられ、地震のきず跡は少しずつ復旧しているとの説明でした。また、台湾側からは今年2月の台南地震被害支援のお礼があり、義援金を送金した日本の5地区のガバナーに感謝状が贈呈されました。

現況報告では、台湾が増強に大きな成果を上げており、2016年1月現在では約34千人の会員を擁し、

2017-18年度には現7地区が12地区に分割再編されとの報告があり、G.黄RI直前会長を輩出した地域の意気込みを感じました。黄元RI会長の講演では、現状の会員は概ね50歳以上の高齢者が多いが、今後の発展のためには後を託す若い会員の入会が不可欠で、女性も含めて積極的に増強する必要がある旨を強調され、そして増強の第一歩は、仮に断られることがあっても候補者に「入会しませんか？」と声をかけることから始まると呼びかけました。なぜなら自分の経験では多くの候補者が「声をかけてもらわなかったから入会していない」と回答すると説明されます。

もう一人の講演者である田中作次元RI会長は、1945年の国連創設にはロータリーが深く関与し、その後も深い関係が続いていて、11月にはロータリーの国連日でRI会長がスピーチする等の行事があり、また現在のポリオ撲滅運動にもつながっていることを説明されました。また、会長年度には「ロータリー平和フェロー」活動を開始し、年度テーマの「平和」に向けて広島等世界3カ所で平和を訴える集会を開催したことを強調されました。

意義深い会議と講演の後は、大懇親会でした。きっと台湾側の出席者に配慮したものでしょうが、なんと金沢でカニや刺身でなく中華料理の懇親会でした。その会場で日本と台湾のロータリアンが其処此处で親しく交流している姿は、国際会議のよそよそしさはなく、同じ目的に向かう仲間同士の大交歓会でした。次回は、高雄市で2018年3月31日に開催されます。なかなか訪問のチャンスの少ない台湾南部を訪問して、国際交流・国際相互理解を深めてみませんか？





ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)

地区青少年奉仕委員長
岡崎 世作

5月22日(日)、社会福祉法人 旭川荘でRYLAを開催しました。各ロータリークラブよりご推薦いただきました青少年20名が参加し、旭川荘資料館で小幡企画広報室長より福祉の歴史を学び、福祉の重要性や尊さに触れました。その後旭川敬老園森園長より「入所者はこれ以上の治療は不可能な高齢者がほとんどで、この施設で余生を静かに過ごされ、ご家族に囲まれながら充実した一生を終える」自然な看取りの尊さをご教授いただきました。引き続き介護技能士の村上氏より「すべてを介護するのではなく、入所者に合わせ、本人の動こうとされる意志をお手伝いする介護技術や、やさしく体に触れながらの声掛けをするコミュニケーション」などを、参加者同士で実体験いたしました。最後に、入所者をグループ別で介護する実習を体験。この日は天気も良く、花咲く旭川の堰堤を、車いすを囲むように入所者とふれあい高齢者介護を

体験していただきました。

これからも少子高齢社会を支える若者の負担は増えます。しかし、自分自身も支えられる立場になることも理解し、他人事ではなく自分自身の問題ととらえ、社会全体で取り組むべきことと気が付かれたと思います。これを機にさまざまな問題に興味を持ち、青少年のリーダーとして社会に積極的に参画されることを期待しています。

今年から選挙権は18歳になります。現状を見て心配する声もありますが、政治知識の未熟さを乗り越え、若者が政治に参画することで『新しい価値観を反映させたより良い社会』を期待してやみません。

今回の研修プログラムにご協力いただきました社会福祉法人 旭川荘の皆さまに感謝申し上げます。



第39回ローターアクト地区大会について

第2690地区ローターアクト代表
熊本 雄介

5月21、22日に岡山県倉敷市で行われました第39回地区大会に多数のご臨席をいただき、誠にありがとうございました。佐藤地区ガバナーをはじめ、ご参加いただきました皆さまより温かいご祝辞の言葉をいただき、大会が盛大に開催できたことを第2690地区アクター一同心から感謝いたしております。

さて、今大会は倉敷南ローターアクトクラブホストのもと、「一緒に懸命」を大会テーマに掲げ、参加された

皆さまの一人ひとりが「協力しあい」・「一生懸命」活動できる場を提供しようと精一杯準備を進めて参りました。

準備をするにあたり、当クラブはアクト経験が浅いメンバーも多く、初めての事ばかりで試行錯誤の連続でしたが、多くの意見交換の中で、より良いプランを検討し、喜びや苦しさを分かち合う中で、仲間の絆を一層深め、当日はメンバー一丸となって、誠心誠意の運営をすることができました。

メインプログラムでは地区ターゲットの「心友」と融合させ、仲間との絆を築いていけるような内容を企画

しました。チーム対抗戦の各ゲームは、全員で協力しないと高得点が取れない内容にしていたので、全てのチームに力を合わせ、一生懸命活動していただき、またプログラム終了後に「一緒に懸命活動できた」という声を耳にすることができ、大きな喜びと感動を覚えました。

さまざまな経験を重ねることでメンバー全員が成長できた貴重な1年となりました。

またこの1年間、例年以上に会員増強やレセプションに力を注がれたクラブもあったとお聞きし、私たちも刺激を受け、地区全体が盛り上がっていると感じました。今後も第2690地区で切磋琢磨しながら、

一致団結し、よりよい活動ができるよう努力していきます。

最後になりましたが、日頃からお世話になっているロータリーの皆さま、また第39回地区大会にご尽力いただきました全ての方にこの場をお借りして御礼申し上げます。



青少年交換・派遣学生壮行会・受入学生送別会

青少年交換委員会 委員長
仁木 壯

去る6月11日(土)、アークホテル岡山にて、地区青少年交換委員会引継会・派遣学生壮行会・受入学生送別会が、佐藤地区ガバナー、庄司地区ガバナーエレクト、池上地区ガバナーノミニ、末長地区ガバナーノミニ・デジグネートのご出席のもと開催されました。

午前中、次年度への引継会と学生受入についてのオリエンテーションを行い、午後は、派遣学生の高野玲奈さん(倉吉RC)、岩世岳大君(倉吉東RC)、福光莉子さん(松江東RC)、松下天風君(児島RC)の壮行会と、受入学生のジェイド・クロスビーさんの送別会を併せて開催いたしました。



佐藤地区ガバナーからの激励と送別のご挨拶ののち、4人の派遣学生にロータリージャケットとロータリー友好バッジが贈呈されました。ジェイドさんには、扇子等の記念品が贈呈されました。

その後、各クラブ代表のロータリアンから派遣学生への激励の言葉、そして派遣学生からスピーチがありました。各々の留学の目標等を披露されましたが、例会等での練習の成果か、堂々たるスピーチでした。ジェイドさんからは、感謝の言葉が述べられましたが、来日時に比べ日本語は長足の進歩でした。受入クラブである岡山東RCの荒川会長とジェイドさんの通った清心女子高校の小寺先生から送別の辞をいただきました。

その後、高野さんが三朝小唄の民謡踊りを、福光さんが日本舞踊を披露してくれました。ジェイドさんも、エーデルワイスの歌をきれいな声で披露してくれました。最後に、池上地区ガバナーノミニから、4人の派遣学生が1年後に大きく成長した姿を見せてくれることを期待する旨のご挨拶があり、閉会となりました。





地区世界社会奉仕事業報告(2015-16年度)

事業代表

松本 祐二 (副ガバナー・ネパール地震発生時のガバナー)

2015年4月25日ネパールの首都カトマンズの北西77キロ付近のガンダキ県内で発生したM7.8(米国地質調査所発表)の地震は首都カトマンズだけではなくその周辺の地域まで被害が広がり死者は8,000人を超える惨事となりました。当時のガバナー事務所に集まった地区内からの義援金は2,841,659円でした。

ネパールの被害状況などについて地区内のクラブやネパールからの元米山奨学生に問い合わせをして支援要請の有無を尋ねました。その結果第2690地区では岡山南RCでお世話されたプラカシュ・カトリさんと第2630地区の鈴鹿RCでお世話された元米山奨学生のアルチャナ・ジョシさんが岡山県内で博士課程に進学されており、支援要請が舞い込みました。プラカシュ・カトリさんの出身地は震源地のガンダキ県内でシャンジャ郡ヴィルコート自治区コルバール村でしたので、建物の崩壊などが激しく多くの男性が国外に出稼ぎに出ていて復興に支障が出ているようでした。

アルチャナ・ジョシさんはすでに首都カトマンズでネパール女性の就労支援のトレーニング施設を運営されていましたが、施設が地震の被害で使えなくなり復興のための資金援助が必要ということでした。



状況調査を目的として2015年11月下旬に首都カトマンズに出かけとりあえずの手狭なルーザートレーニングセンターを視察し、カトマンズから飛行機でネパール第二の都市ポカラに移動して、そこから車で約2時間移動の後さらに4輪駆動車で橋のない小川を渡り、狭い急峻な山道を登ってコルバール村を訪問(カトリさんの結婚式に合わせての訪問となりました)村には宿泊施設がなくカトリさんのお宅に宿泊しました。村の方々との話し合いの結果、避難所や集会所を兼ねた公民館建設で話が決定して帰国しました。



2016年5月の連休明けに公民館も完成してルーザートレーニングセンターも新しく広い建物に移転が完了しましたので、確認に再び出かけました。トレーニングセンターでは被害者女性20人が縫製ミシンコースを受講していました。コルバール村での竣工式には地元の議員や警察署長など来賓が約20名、地元の方も200人ほどが出席され地元のテレビ局のロータリアンが取材に来てくれ、その夜1時間ほどの特別番組で日本のロータリークラブが直接現地に支援活動に入ったことを詳しく放送してくれました。



女性の就業支援活動

2015年4月25日にネパール中部を襲ったマグニチュード7.8の大地震で、75郡のうち14の郡が深刻な被害を受けました。数多くの村が全壊し、約9千人の人が亡くなりました。

パタン市のルーザートレーニングセンターが借りていた建物にも亀裂が入り、使用できない状態になりました。町中が罹災のために、地震が発生の3カ月後に、ようやく同じ建物内で被害一番少なかった3階の部分で職業訓練を再開しました。

今回の地震で、家族や家を失った女性たちを対象にした技能取得プロジェクトを実施したいと考えていましたところ、幸いにも国際ロータリー第2690地区



のご支援で2015年12月から被災者の女性たちに無料ミシン縫製教室を開始することができました。現在、被害を受けた7郡の地域から若い女性20人が裁縫教室に通い技能を学んでいます。彼女たちは、家を失いこれからどのように生活をして行くのか自分を失っていた時に、ミシン縫製の技能習得により、近い将来に生活自立ができることを何よりもうれしく思っていると口々に話をしてくれました。プロジェクトのご支援いただきましたロータリアンの皆さまに心から御礼と感謝を申し上げます。

(アルチャナ・ジョシ記)



ハートセービングプロジェクトについて

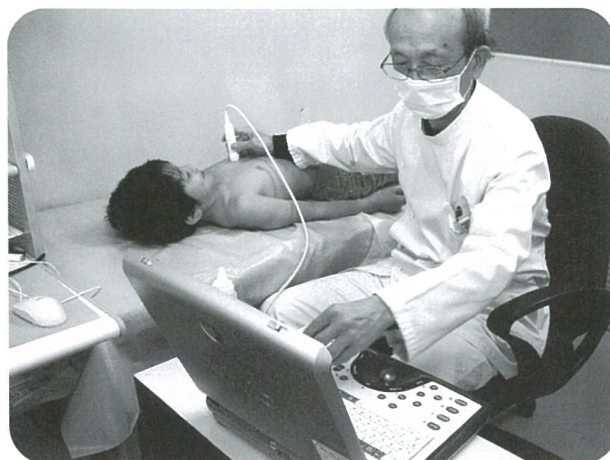
出雲ロータリークラブ 会長
遠藤 充子

ハートセービングプロジェクトとは、2001年から始まったモンゴル国での小児循環器診療のプロジェクトです。この活動は、渡航費用は医師の個人負担、無償治療活動です。

活動のきっかけは、理事長の羽根田紀幸先生が、当時モンゴルから島根大学医学部に留学中の医師から、モンゴルの小児循環器医療の実状を聞き、日本では治療をすれば99.9%完治する病気であってもモンゴルでは見捨てられ助からないという状態を知ってからでした。以降多くの方々の寄付と、医師の方々の協力によりNPO法人ハートセービングプロジェクトとして活動を継続しております。

羽根田先生は、出雲RCの会員で、昨年12月に残念ながらご逝去された基常日出明様の娘婿でいらっしゃいます。長年モンゴルへ渡り心臓治療を続けられ、2,000人以上の診察をし、350人以上のカテーテル治療をされました。モンゴル国政府からは、この活動を高く評価され、モンゴル国最高勲章の「北極星勲章」を2006年に受章されております。

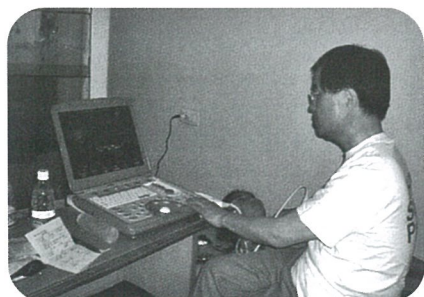
この活動は、在日モンゴル協会の皆さまも高く評価され、大変感謝しておられ、昨年12月の基常会員のご葬儀には日馬富士関はじめ、在日モンゴル協会の



皆さまから多くの哀悼の意を表され、感謝の花を贈られました。出雲という地方都市から始まった国際貢献活動ですが、地元をはじめ多くの皆さまの寄付と協力により活動を続け、このように評価されております。

このたび、RI第2690地区からもDWCSの義援金をいただくことができ、当クラブ例会で、理事長 羽根田紀幸先生に地区とクラブからの義援金をお渡しいたしました。

早速エコーの修理費に充てられ、モンゴルでの治療に活用されております。



ポータブル心エコー装置 Vivid I による
モンゴル地方都市小児心臓検診



ポータブル心エコー装置 Vivid I による
モンゴルでのカテーテル治療前の患者チェック



ポータブル心エコー装置 Vivid I による
モンゴルでのカテーテル治療中の患者チェック

計 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



松田 直藏 名誉会員
(浜田RC)

逝去日/2016年3月24日
享年/95
入会日/1962年12月1日

松田直藏パストガバナーのご逝去を悼んで

橋本 護 (パストガバナー・倉敷ロータリークラブ)

1999-2000年の地区ガバナー選出に当たって、橋田パストガバナーが「いい人がいるんだけど、なかなかねー」と言われながら、何度も浜田に足を運ばれていたのを思い出します。

やっと松田様が承諾されましたが、浜田ロータリークラブからは1983年樫山地区ガバナーが出られて以来の事でした。

松田地区ガバナーは、地区テーマを「小さな好意、大きな輪」とされ、善意をもって奉仕をみつめよう、と説かれました。また、常々地域にロータリーの心を生かす事に留意され、世界で唯一、種痘の発明者E・ジェンナーの頌徳碑の存在に着目、GSEはジェンナーの生誕他英国第1100地区との間で交換され、ご自身も第1100地区の地区大会にご出席、親睦に務められました。

地区大会の記念事業には、万灯山公園にジェンナーの銅像を建立、ポリオ撲滅に先立って天然痘の追放に勝利した人類の軌跡を高らかに唄い上げられました。

80才というご高齢で地区ガバナーを終えられ、しばらくはパストガバナーとして仕事を続けられましたが、晩年は愛知に居を移され、お目にかかる機会もありませんでした。

ご逝去とお聞きし、いつも微笑みをたたえられた温顔を、再び拝することができないと思うと、淋しい限りです。

今は、ただ心からのご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

第5回諮問委員会報告

〈報告事項〉

日時:2016年3月12日(土)10:30~12:00

会場:国際ファミリープラザ 3F 稲盛ホール

1. 地区ガバナー事務所より報告

- ・塚本地区代表幹事より報告 ①意義ある業績賞について ②規定審議会(4月シカゴ開催)出席補助費について ③ソウル国際大会での日本人朝食会および地区ナイトについて ④行事予定について

2. 地区ロータリー財団事務所より報告 3. 庄司尚史 地区ガバナーエレクト事務所より報告

第6回諮問委員会報告

〈報告事項〉

日時:2016年6月12日(日)10:30~13:30

会場:ANAクラウンプラザホテル岡山 1F 花葉の間

1. 地区ガバナー事務所より報告

- ・①岡山RCと牛窓RCの合併について ②ロータリーダイナースコーポレートカードについて ③ネパール地区世界社会奉仕事業について ④2017年7月開催予定の国際ロータリー第3ゾーンロータリー戦略計画推進セミナーについて ⑤熊本地震義捐金について ⑥パストガバナー会収支について ⑦行事予定について

2. 地区ロータリー財団事務所より報告

3. 庄司尚史 地区ガバナーエレクト事務所より報告

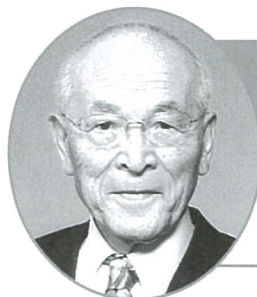
第4回ガバナー補佐会報告

〈報告事項〉

日時:2016年6月25日(土)10:30~13:30

会場:ANAクラウンプラザホテル岡山 1F 花葉の間

- ①岡山RCと牛窓RCの合併について ②ネパール地区世界社会奉仕事業について ③熊本地震義捐金について ④行事予定について ⑤その他



玉島ロータリークラブ創立50周年 記念式典を終えて

創立50周年実行委員長 瀬崎 信明

平成28年5月8日(日)、玉島ロータリークラブは創立50周年記念式典および祝賀会を倉敷アイビースクエアで開催いたしました。

当クラブは1966年(昭和41年)9月に創立し、現在の会員数は26名、若き日の良寛さんが修行をした白華山円通寺に隣接する良寛荘にて例会を行っています。

記念式典は、倉敷市長伊東香織氏をはじめとする来賓の方々をお招きし、国際ロータリー第2690地区佐藤芳郎ガバナーをはじめ、パストガバナー、スポンサークラブの倉敷RC、さらに第7グループ、第6グループの会長、幹事、当クラブのOB会員、現会員、家族など、総勢80名で盛大に執り行いました。



記念式典に引き続き、倉敷芸術科学大学教授 産業科学技術学部 学部長の濱家輝雄先生をお招きし、地域創生～まち・ひと・しごと～をテーマに記念講演をしていただきました。

講演の中で、子どものうちから地域の伝統文化を学ぶことでUターンにつながっている金沢の事例から、玉島の地域創生には子ども、若者に地域を学び、誇りをもたせることが重要、また、ロータリーの横のつながりに、若者たちとの縦の世代間コミュニケーションを加え、玉島ブランドを織りなしていく推進剤としての役割を玉島RCに期待するとエールをいただきました。

祝賀会では当クラブ会員の木



下行巳君の主催する倉敷芸能塾の皆さまによる獅子舞の登場で、佐藤ガバナーにもご登壇いただくなど、会場を巻き込んだ見事な舞台を披露していただき、楽しく、まさに祝賀の典となりました。

以上のように、50周年記念式典はつつがなく、実りのある式典となりました。これもすべて関係各位のご理解とご協力によるものです。この場をお借りいたしましてあらためて感謝申し上げますとともにお礼を述べさせていただきます。誠にありがとうございました。

これからも玉島ロータリークラブは次の半世紀にむけて新たな決意を持って一步一步地域とともに、奉仕活動を続けて発展していく所存ですので、今後とも皆さまのさらなるご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。





岡山北西ロータリークラブ創立25周年 記念式典を終えて

岡山北西ロータリークラブ幹事 入江 直人

去る5月15日(日)ホテルグランヴィア岡山にて当クラブ創立25周年記念式典、祝賀会を開催させていただきました。当日は、佐藤地区ガバナー、松本直前ガバナー、ガバー補佐秋山様、チェンライRC パスト会長 原田様、および県南16ロータリークラブの会長・幹事様にご臨席いただき大変感謝申し上げます。

また、2001年より友好クラブとして交流をさせていただいています京都朱雀RCから那須会長・浦谷幹事をはじめ多くの会員、ご夫人ご家族、青少年交換留学生の皆さまに参加をいただき、ありがとうございました。

当クラブは1991年2月、岡山北RCをスポンサークラブとして55名のメンバーで創立しました。本年25年の区切りの年を迎えるにあたり、今一度創立の原点に立ち返り、これまでの道のりを振り返ることができました。

記念事業は初めて海外での事業として、タイ王国 チェンライで「北タイ子供就学支援」を行いました。支援を行った施設は、チェンライ特殊養護学校「パンヤ・ネウクン養護学校」アカ族子供寮「若竹寮」と「メコーン寮」です。

パンヤ・ネウクン養護学校は「学童用肥満抑制教育支援」として屋内運動器具を支援させていただきました。アカ族子供寮「若竹寮」には「自活サイクル支援」として排水



など水廻りの工事の後、鶏飼育場を建設し養鶏110羽と1年分の飼料を、「メコーン寮」には「読書環境整備支援」の一環として、図書棚、図書、図書室管理備品を支援いたしました。

このタイでの記念事業にご尽力いただきましたチェンライRC 原田様には感謝申し上げます。

記念式典を通して私たちは四半世紀25年の歴史を踏まえ、今後とも地域社会に必要とされる奉仕活動を実践し、さらなる貢献をしなければならないことを再認識いたしました。皆さま方の末長いご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願いいたしましてご報告とさせていただきます。





岡山西ロータリークラブ創立55周年記念式典 ならびに祝賀会の開催

岡山西ロータリークラブ会長 高井 研一

1961年、岡山に3番目として設立された岡山西ロータリークラブは今年で創立55周年を迎えることになりました。誠にめでたく慶賀に堪えません。この慶びを大勢の方と祝いたく、先の5月18日にANAクラウンプラザホテル岡山で式典ならびに祝賀会を開催しました。まず、今回の55周年記念式典開催に先立ち、そのキックオフを兼ねたイベント「岡山西ウエスタンカーニバル“The 2nd”」を去る平成28年3月2日に岡山市北区内山下のルネスホールにて開催しました。アマチュアバンドによる演奏、また歌やダンスを楽しみながらのひとときを過ごし、参加者相互の親睦・交流を深めました。また、記念式典前日には40年来の国際交流を行っている台湾の歐瑞崇会長以下21名からなる台南RC一行の皆さまを招待し、歓迎晚餐会を開催、お互いの再会を喜び、楽しい語らいの時間を過ごしました。

さて本番の創立55周年記念式典は、佐藤地区ガバナー、小林ガバナー補佐、塚本地区代表幹事、また歓迎晚餐会でお疲れのところ台湾より歐台南RC会長など多数のご来賓のご出席をいただき開会しました。会長点鐘に引き続き、3人の物故会員を追悼した後、来賓祝辞を佐藤地区ガバナー、庄盛岡山RC会長、さらには歐台南RC会長にお願いしました。記念講演はわがクラブの菊池会



員が行いました。演題は「55年を顧みて」で、岡山西ロータリーの歴史に残る会員の紹介、その人柄、また、まつわる逸話など約1時間名講演に聞き入りました。そして歴代会長、幹事の方への感謝状・記念品の贈呈、ポール・ハリス・フェローや米山功労者、在籍20年以上の会員、出席100%の会員の方への記念品贈呈へと粛々と会は進行し、副会長の閉会のあいさつ、会長点鐘にて厳粛な雰囲気の中に無事終了いたしました。

記念祝賀会は同じホテル内ですが会場を替えて行いました。式典を終えてほっとした雰囲気の中、軽音楽の演奏を聴きながら、来るべき60年、いや100年の創立記念式典を見据えて参加者一同盃を酌み交わしながら夜遅くまで語らいは続きました。





岡山旭川ロータリークラブ創立25周年 記念式典を終えて

創立25周年記念実行委員会委員長 宇佐美 英司

去る6月29日(水)岡山アークホテルにおいて当クラブ創立25周年記念式典、祝宴を開催しました。

式典にはご来賓として地区ガバナー 佐藤芳郎様、第10グループガバナー補佐 樋田正則様、当クラブの創立時ホストクラブである岡山中央ロータリークラブ会長 小田慈様、同幹事 岩城孝男様、当クラブが奉仕活動として支援させていただいているアマモ場再生事業の主演である岡山市立小串小学校校長 難波祝子様、アマモの海底植付けをさせていただいているダイバー 板崎浩一様にご臨席いただきました。

藤原会長の、ロータリアンとして一隅を照らし続ける人でありたいという会長挨拶を受けて、佐藤ガバナーからは一隅を照らすという生き方は渡辺和子先生の、置かれた場所で咲きなさいとの考え方とも軌を一にするものであって、そのような生き方を目指す仲間をどうやってふやすのかという方法を考えてほしいというお言葉をいただき、小田様からは、ご自身も一隅を照らすという考えの先輩に導かれて歩んで来られたこと、その思いを持って、ファーストペンギン(NHKの朝ドラ「あさが来た」で出てきた、危難をかえりみず最初に飛びこむペンギンのこと)になろうという呼びかけと、岡山中央ロータリークラブと当クラブの関係はスタンド・バイ・ミーであるとの励ましのお言葉をいただきました。

式典の中で行われた講演では、難波様からはアマモ場

再生事業への取り組みによって子どもたちの自然環境への関心が深まり、山の学校



と海の学校との交流が進んでいる様子の報告があり、当クラブのささやかな支援による大きな成果を見せていただきました。

板崎様からは、海底へのアマモの植え付けの様子の動画のご紹介とともに、この事業が美しい海の復活の一助になっているとのお話をいただきました。

式典の後の祝宴では、昨年25周年記念事業として行った、第1回岡山ネクステージジャズコンテストの様子を紹介する画像を流す中、出席者皆和気あいあいとした雰囲気の中、楽しく時間を過ごすことができました。当クラブは、近年会員増強に苦勞しておりましたが、本年度は藤原会長の強いリーダーシップのもと何とか目標を達成することができました。

創立25周年を一区切りとして、また新たな歩みを進めるべく、会員一同思いを新たにすることができたと思います。



国際ロータリー第2690地区 2015-16年度 シェアシステム 地区財団活動資金 (DDF) 使用に関する報告

(日本円の換算は参考数値であり、地区補助金申請時のRレート 1ドル=124円で計算しています)

収 入		ドル	円
3年前の年次寄付額の50%	①	249,547.02	30,943,830
恒久基金収益の50%	②	19,700.37	2,442,846
前年度からのDDF繰越額等		175,822.32	21,801,968
合 計	③	445,069.71	55,188,644

支 出	予算		決算	
	ドル	円	ドル	円
地区補助金 (DG1633075) (上限額=133,876ドル((①+②)×50%) ^{※1}				
■クラブ提唱 奉仕プロジェクト ^{※2}	58,231	7,220,644	58,012	7,193,488
*38クラブ実施… 備前RC / 浜田RC / 倉敷瀬戸内RC / 新見RC / 鳥取RC 玉野RC / 井原RC / 児島東RC / 米子南RC / 境港RC 岡山旭川RC / 鳥取西RC / 倉敷水島RC / 米子中央RC / 益田RC 倉吉東RC / 江津RC / 米子東RC / 大社RC / 松江東RC 岡山東RC / 総社RC / 岡山中央RC / 岡山南RC / 玉島RC 倉敷東RC / 平田RC / 倉吉RC / 岡山北西RC / 岡山城RC 倉敷南RC / 出雲南RC / 津山中央RC / 鳥取中央RC / 津山RC 益田西RC / 真庭RC / 出雲中央RC				
■2015-16年度地区奨学生 久野愛さん (鳥取RC推薦) 奨学金	18,425	2,284,700	18,425	2,284,700
■2015-16年度地区奨学生 山本浩貴さん (境港RC推薦) 奨学金	19,355	2,400,020	19,355	2,400,020
■臨時費 (20%まで申請可) ^{※3}	26,775	3,320,100	610	75,640
■奨学生オリエンテーション会場費	500	62,000	87	10,788
■補助金管理セミナー会場費・印刷費	6,574	815,176	6,574	815,176
■補助金プロジェクトの実施に必要とされる管理運営費 (3%まで申請可)	4,016	497,984	436	54,064
計	133,876	16,600,624	④ 103,499	12,833,876
DDF寄贈				
■ポリオプラスへの寄贈			70,000	8,680,000
■世界平和フェローシップへの寄贈			50,000	6,200,000
計 ⑤			120,000	14,880,000
合 計 ⑥			223,499	27,713,876

差 額	ドル	円
2016-17年度への繰越額 (③-⑥) ^{※4}	221,570.71	27,474,768

※注 1 使用可能な恒久基金の収益②については当該年度開始後の通達 (2015.11 = 19,700.37ドル) となるため、補助金申請時の金額 (2014.11 = 18,204.98ドル) と異なります。

※注 2 各クラブ提唱奉仕プロジェクトの詳細は 2015-16 年度地区活動報告書へ掲載します。

※注 3 地区補助金は一括申請のため、予備費として申請し、年度途中で承認された経費に充てることができます。今年度は補助金管理セミナーの印刷費不足分に充てています。

※注 4 実際には補助金管理口座の利息が加算されて繰り越されます。

地区だより【2016年5月】

新会員のご紹介



ロータリー財団への寄付

大口寄付者

ベネファクター

ポリオプラスへの寄付

ポール・ハリス・フェロー



ポール・ハリス・フェロー



ポール・ハリス・フェロー



メモリアル・コントリビューター

玉野RC 槌田正則 がご尊父 槌田始夫のために
(ポリオプラス寄付)

クラブポリオプラス寄付

松江南RC.....490.91 ドル	出雲中央RC..... 498.18 ドル	高梁RC.....317.21 ドル	岡山岡南RC 612.00 ドル
平田RC.....1,500.00 ドル	出雲南RC..... 232.83 ドル	岡山北西RC1,500.00 ドル	

ポリオプラスにご寄付いただいた方々

鳥取北RC..... 伊藤教史、乾 康彦、入江宏一、入江敏夫、入江容子、植田哲朗、大山茂生、岡森 裕、秦野諭示、早川慶子、福石幸生、
福田 収、古川郁夫、本家勇子、前田清吉、牧浦繁雄、松原雄平、松本敬介、道上正規、宮崎正彦、宮崎典之、村上保雄、
森下耀雄、門脇篤彦、小林弘尚、坂根 徹、笹野真紀、霜村哲男、白岩裕己、竹田達夫、田中 彰、田中英教、田中和夫、
田邊賢二、田村博信、田村文男、塚田 隆、野田英明、森本美明、山田雅文、山根敏男、山本潤一、米澤信也、
米田由起枝、坂根 裕、廣谷直樹
笠岡東RC..... 新井善久、工藤一郎、三宅達夫、奥野千秋、池田 孝、石田官義、恵谷龍二、江原和之、江原公平、大嶋元義、岡辺賢二、
岡原 稔、小川隆則、越智信子、金子洋方、北殿真一、頃末英克、鈴木紘一、高田慎也、田淵純雄、土屋康文、
中務祺九大、長鋪方隆、中新 隆、原田俊三、福嶋啓祐、洲野瑛木、牧野真樹、松田重雄、光井 伸、椋梨孝章、
山本雅夫、吉岡孝恭、大島俊明、佐藤林平、荒川佳朗、池田周二、高橋剛吉、狩屋幸治、藤田秀樹

ポリオプラスにご寄付いただいた方々

児島RC…………… 藤井昭佐、古谷栄一、原 敏恭、出石啓治、片山多実雄、河合 浩、河合達朗、小出輝正、近藤敬直、ミツツネ ケネス、三宅智也、難波恭一郎、西原清孝、岡田忠司、岡本紀久雄、太田好宣、尾崎祐一、佐伯増恒、佐藤 靖、妹尾佳均、清水英樹、曾根和孝、角南 晃、須藤洋一、洲脇泰雄、渡辺好政、山本 修、山本登三郎、山本康善、山崎泰弘、横田正生、吉田修三郎、松下知美

津山西RC…………… 有木淳浩、番原よし浩、廣野勝彦、廣澤祐祐、井上昭雄、北村三郎、松永 章、神谷英伸、森 宗柏、森定慈誠、中村早百合、西本美枝子、西山尚恵、野口泰俊、小椋章光、小椋 懋、太田邦夫、太田洋一、坂野充典、佐藤みゆき、下迫博幸、下山武紀、高山照輔、高矢満雄、田淵浩巳、田邊九吾、谷口康子、椿 幹子、上山良二、渡邊吉幸、渡邊吉幸、山下正憲、吉田藤生

出雲市5クラブ合同例会・出雲中央RC第3回全国RC親睦卓球大会の募金

第8・第9グループIM

クラブ年次寄付

倉吉RC…………… 237.82 ドル (ミリオンダラーミール)	総社RC…………… 1,113.42 ドル (ミリオンダラーミール)
倉吉東RC…………… 670.69 ドル (ミリオンダラーミール、新会員寄付)	高梁RC…………… 1,818.18 ドル (その他)
鳥取西RC…………… 796.72 ドル (ミリオンダラーミール、新会員寄付)	岡山RC…………… 666.36 ドル (ミリオンダラーミール、新会員寄付)
笠岡RC…………… 235.20 ドル (ミリオンダラーミール)	岡山城RC…………… 45.45 ドル (その他)
笠岡東RC…………… 1,818.18 ドル (第6GIM 記念寄付)	

年次寄付にご寄付いただいた方々

倉吉RC…………… 笠見和則、山田悌次

倉吉東RC…………… 濱口和男、春山貞洙、井木久博、河越行夫、河原篠秀紀、熊野光紀、桑名富雄、前畑俊幸、向井康英、長棟秀文、中原裕之、中野秀保、小椋和彦、大平純二、太田拓志、新木雅章、戸崎恭一郎、山本和宏、吉川由紀子、今村憲治、笠田直樹、福井雅人

鳥取北RC…………… 笹野真紀、田村文男

鳥取西RC…………… 田中章夫、松島 勇、山村保雄

米子東RC…………… 高田泰司

松江RC…………… 三輪信司、杉原週範

笠岡東RC…………… 新井善久、工藤一郎、三宅達夫、奥野千秋、池田 孝、石田官義、恵谷龍二、江原和之、江原公平、大嶋元義、岡辺賢二、岡原 稔、小川隆則、越智信子、金子洋方、北殿真一、頃末英克、鈴木紘一、高田慎也、田淵純雄、土屋康文、中務祺九大、長鋪方隆、中新 隆、原田俊三、福嶋啓祐、洲野瑛木、牧野真樹、松田重雄、光井 伸、椋梨孝章、山本雅夫、吉岡孝恭、大島俊明、佐藤林平、荒川佳朗、池田周二、高橋剛吉、狩屋幸治、藤田秀樹

倉敷中央RC…………… 原田より子、石原誠一、楠戸登美夫、難波弘毅、小河原洋子、友田淑子、渡辺洋介、山中祥吉、檀 朋宏、香西恭子、國政郁哉、千田修志、白神香織、高山五三郎

岡山北西RC…………… 岡本浩三

岡山岡南RC…………… 赤田明美、濱田誠二、猪木健二、磯邊 崇、金田栄三、榎谷公登、豊田栄治

米山記念奨学会への寄付

米山功労者



佐藤芳郎
岡山南RC



恒松克己
平田RC



谷本隆臣
大田RC



一坪雅代
総社吉備路RC



前原 進
真庭RC

クラブ特別寄付

倉吉東RC…………… 67,000 円 (米山ランチ)

松江東RC…………… 724 円 (米山 BOX)

出雲RC…………… 5,000 円 (米山ランチ)

倉敷水島RC…………… 30,240 円 (米山ランチ)

特別寄付をいただいた方々

倉吉東RC…………… 向井 潤

松江RC…………… 杉原週範

鳥取北RC…………… 笹野真紀、田村文男



謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



黒木 保
井原RC

逝去日/2016年5月17日
享年/90
入会日/1967年11月22日



藤田正男
益田西RC

逝去日/2016年5月26日
享年/94
入会日/1990年7月1日

先月号の追記・訂正とお詫び

地区だより6月号 (Vol.12)、に下記の誤りが
ありましたので訂正してお詫び申し上げます。

P7.ロータリー財団への寄付
PHS小林健治 (倉吉RC) 回数8→9

出席報告 (2016年5月)

クラブ名				Make-up後 出席率 (%)	ホームクラブ 出席率 (%)	会 員 数			
				例会数	7月1日	5月末	内女性会員	増減	
第1グループ	智 頭	60.00	53.33	3	10	10	0	0	
	倉 吉	91.38	77.59	3	57	59	2	2	
	倉吉中央	90.12	80.25	3	23	27	2	4	
	倉吉東	98.29	66.30	3	43	45	4	2	
	鳥 取	99.44	76.84	3	58	63	3	5	
	鳥取中央	80.50	80.00	5	39	40	0	1	
	鳥取北	87.07	80.95	3	49	51	5	2	
	鳥取西	96.30	81.48	3	48	46	0	▲2	
	計（8）	87.89	74.59	—	327	341	16	14	
第2グループ	境 港	95.04	71.97	3	41	51	1	10	
	米 子	83.09	56.52	3	65	70	3	5	
	米子中央	78.70	72.83	3	39	36	2	▲3	
	米子東	74.28	62.58	3	100	104	7	4	
	米子南	84.09	65.34	3	59	63	4	4	
	計（5）	83.04	65.85	—	304	324	17	20	
第3グループ	松 江	89.06	75.40	3	64	70	0	6	
	松江東	84.62	73.63	3	62	63	1	1	
	松江南	94.05	84.27	4	65	66	4	1	
	松江しんじ湖	85.81	65.81	3	56	55	9	▲1	
	隠岐西郷	86.36	70.45	4	23	23	0	0	
計（5）	87.98	73.91	—	270	277	14	7		
第4グループ	平 田	80.67	76.47	3	45	45	2	0	
	出 雲	81.38	65.96	4	48	50	3	2	
	出雲中央	78.33	70.95	4	46	45	3	▲1	
	出雲南	96.88	80.73	3	64	64	7	0	
	大 社	80.71	65.00	3	47	55	3	8	
計（5）	83.59	71.82	—	250	259	18	9		
第5グループ	江 津	89.32	78.79	3	37	37	2	0	
	浜 田	88.76	76.33	3	55	59	1	4	
	益 田	94.37	70.42	4	18	18	1	0	
	益田西	88.89	75.31	3	28	26	2	▲2	
	大 田	97.70	82.76	3	30	30	4	0	
計（5）	91.81	76.72	—	168	170	10	2		
第6グループ	井 原	89.38	71.68	3	41	43	2	2	
	笠 岡	98.52	83.70	3	50	49	0	▲1	
	笠岡東	96.67	85.00	3	39	40	1	1	
	新 見	86.96	81.16	3	24	23	2	▲1	
	総 社	82.80	71.74	3	35	34	6	▲1	
	総社吉備路	83.33	79.17	3	32	34	2	2	
	高 梁	83.06	73.39	3	43	43	1	0	
	玉 島	91.78	84.93	3	26	26	1	0	
計（8）	89.06	78.85	—	290	292	15	2		

クラブ名				Make-up後 出席率 (%)	ホームクラブ 出席率 (%)	例会数	会 員 数			
				7月1日	5月末	内女性会員	増減			
第7グループ	児 島	76.07	56.41	4	27	33	1	6		
	児 島 東	98.53	86.77	4	20	18	0	▲2		
	倉 敷	99.18	75.31	3	86	89	1	3		
	倉敷中央	79.17	79.17	4	13	15	5	2		
	倉敷東	97.45	85.35	4	38	43	3	5		
	倉敷南	92.90	72.03	3	53	52	2	▲1		
	倉敷水島	91.43	82.86	2	20	22	0	2		
	倉敷瀬戸内	91.30	83.96	3	39	38	2	▲1		
	計（8）	90.75	77.73	—	296	310	14	14		
第8グループ	真 庭	81.81	75.41	4	35	37	0	2		
	美 作	87.30	84.80	4	34	33	1	▲1		
	津 山	66.28	59.77	3	87	89	3	2		
	津山中央	82.72	75.31	3	25	27	2	2		
	津山西	84.78	82.61	3	32	33	6	1		
	計（5）	80.58	75.58	—	213	219	12	6		
第9グループ	赤 磐	81.25	65.96	4	12	12	0	0		
	備 前	75.00	61.11	4	57	58	8	1		
	岡 山	87.23	72.11	3	111	113	1	2		
	岡 山 東	88.54	81.21	3	96	98	0	2		
	岡山北西	82.22	67.86	4	54	58	3	4		
	岡山後楽園	83.95	70.37	3	52	54	0	2		
	計（6）	83.03	69.77	—	382	393	12	11		
第10グループ	岡山旭川	80.85	74.43	3	24	26	2	2		
	岡山中央	69.15	62.37	3	38	37	2	▲1		
	岡 山 北	90.24	79.27	4	36	41	1	5		
	岡 山 南	82.26	70.82	3	155	159	16	4		
	玉 野	82.88	72.97	3	35	38	0	3		
	計（5）	81.08	71.97	—	288	301	21	13		
第11グループ	岡山備南	88.24	83.33	3	33	34	2	1		
	岡 山 城	91.51	82.86	4	24	27	1	3		
	岡山岡南	73.40	54.84	4	29	26	3	▲3		
	岡山丸の内	75.00	60.00	3	41	41	2	0		
	岡 山 西	87.23	74.24	4	69	75	4	6		
	岡山西南	92.55	75.00	3	57	55	3	▲2		
計（6）	84.66	71.71	—	253	258	15	5			

※岡山RCの7月1日会員数は、牛窓RCの会員5名を含む。

地区
クラブ
内
の
状
況

クラブ数	66RC
2015年7月1日会員数	3,041名
2016年5月末日会員数	3,144名
内 女性会員数	164名
純増	103名
5月出席率	Make-up 後 86.18%
	ホームクラブ 73.90%

※岡山RCの7月1日会員数は、牛窓RCの会員5名を含む。

地区クラブ内の状況	クラブ数	66RC
	2015年7月1日会員数	3,041名
	2016年5月末日会員数	3,144名
	内 女性会員数	164名
	純増	103名
	5月出席率	Make-up 後 86.18 % ホームクラブ 73.90 %

地区だより【2016年6月】

新会員のご紹介



ロータリー財団への寄付

ベネファクター

ポール・ハリス・フェロー



ポール・ハリス・フェロー



メモリアル・コントリビューター

倉吉RC 倉都祥行がご母堂 倉都倫子のために
出雲RC 基常左禰子のご主人 基常日出明のために

大田RC 大澤優彦がご母堂のために
井原RC 黒木立志がご尊父 黒木 保のために

クラブ ポリオプラス 寄付

松江RC 572.73 ドル

益田西RC 85.31 ドル

岡山岡南RC 612.00 ドル

ポリオプラスにご寄付いただいた方々

井原RC 黒木立志

津山中央RC 阿形寛昇、有本 稔、有本次男、有宗博志、萩原一雄、初川正子、廣野 學、本多正明、直本倫幸、亀川哲明、國米一朗、前原知明、松尾俊明、森宏昭、中西寛治、野村昌平、小笠原卓宏、岡田敏文、坂田英輝、末田敬三、田口浩二、田口太馬男、只友 環、寺坂磨哉、植月芳夫、山本 平、矢野良幸

津山西RC 神谷英伸、小椋 懋

クラブ年次寄付

倉吉東RC……………1,000.00 ドル（その他）	倉敷RC……………454.55 ドル（その他）
鳥取北RC……………909.09 ドル（ミリオンダラーミール）	岡山RC……………30.00 ドル（新会員寄付）
鳥取西RC……………640.45 ドル（新会員寄付）	岡山東RC……………1,427.28 ドル（ミリオンダラーミール、新会員寄付）
米子RC……………7,200.00 ドル（その他）	岡山北西RC……………117.49 ドル（1ドル寄付、新会員寄付）
米子南RC……………909.09 ドル（ミリオンダラーミール）	岡山備南RC……………859.00 ドル（財団 BOX）
松江RC……………3,921.20 ドル（財団ランチ、新会員寄付）	岡山城RC……………1,600.00 ドル（財団 BOX）
隠岐西郷RC……………76.65 ドル（ミリオンダラーミール）	岡山岡南RC……………54.25 ドル（財団 BOX）
平田RC……………1,062.65 ドル（財団 BOX）	岡山丸の内RC……………263.64 ドル（ミリオンダラーミール）
浜田RC……………1,596.00 ドル（ミリオンダラーミール）	岡山西RC……………5,293.64 ドル（全会員寄付）
笠岡東RC……………190.91 ドル（ミリオンダラーミール）	岡山西南RC……………1,043.11 ドル（財団 BOX、新会員寄付）
高梁RC……………909.09 ドル（その他）	

年次寄付にご寄付いただいた方々

倉吉RC……………倉都祥行、亀井 理、中山貴彦、沖 礼、佐々木福一、清水成真、津村徹夫、若原道昭、吉田圭子、吉田武章	
倉吉東RC……………仲村美枝、富山孝司	
鳥取北RC……………植田哲朗	
鳥取西RC……………狩野義仁、岡本安量、山下卓治	
米子東RC……………長谷川渉、澤 耕司、遠藤智美	
出雲RC……………武志俊太郎	
江津RC……………青木史郎、藤代美友、藤田武利、藤田和雄、原 諭、平下智隆、本藤繁夫、石橋孝義、伊藤誠二、鍛治恵巳子、森口裕行、森下幸生、森脇祐之助、室谷卓治、田中利徳、寺下 衛、和原勝博、和木田登、室崎拓勝、永井良三、小川泰道、岡田久樹、尾前 豊、山藤志哲、佐々木一成、佐々木啓之、佐多 宗、砂田 忠、高田圭介、小松 伸、久保田泰介、桑原祥瑞、三上貴子、木幡研一、押越奈津紀、柿本礼二、山崎一成	
倉敷南RC……………山口安成、藤井慎吾、奥本 寛	
倉敷瀬戸内RC……………江口健一、原 弘道、原田一郎、長谷川寛、池上仁海、板野姿子、香川俊一、河村一浩、日下昌平、丸尾重仁、丸山昌巳、三宅英和、森岡雅彦、長沼 徹、長森真一、中桐真彦、塚村治道、綿谷正人、山田 斉、芦原 勉、中村 正、中野有一、中山永浩、中山田英樹、西野和弘、西岡喜良、大熊清文、小野寛治、小野 保、大島康雄、佐々木伸介、佐藤浩明、下原福子、忠政一行、高島賢二、綱島 勲、吉田衛生、井上暁彦	
津山RC……………神崎信輔	
岡山東RC……………富谷拓真	
岡山北西RC……………日笠常信、小橋幹雄、小松原隆代、熊野俊策、槌田道弘	
玉野RC……………三宅一昌	
岡山備南RC……………難波昌洋、岡原洋介	
岡山岡南RC……………高戸正勝、吉井良治、柚木康司	
岡山西RC……………小山博通	
岡山西南RC……………小寺弘士	

米山記念奨学会への寄付

米山功労者

									
牧田侑紀 倉吉RC	手銭盛隆 大社RC	大崎 寛 浜田RC	桑田育郎 倉敷水島RC	手島 靖 真庭RC	小原茂揮 津山RC	杉本邦夫 津山RC	須江英典 津山RC	田中勝子 津山RC	只友 玕 津山中央RC

米山功労者

			
番原よし浩 津山西RC	本郷 亮 岡山備南RC	木下修二 岡山備南RC	三村明彦 岡山備南RC

クラブ 普通 寄付

出雲RC.....2,500 円

クラブ 特別 寄付

鳥取北RC.....100,000 円 (米山ランチ)	岡山旭川RC.....260,000 円 (米山ランチ、米山 BOX)
鳥取西RC.....44,400 円 (米山ランチ)	岡山北RC.....43,000 円 (米山ランチ)
米子RC.....280,000 円 (その他)	玉野RC.....73,872 円 (米山ランチ)
米子南RC.....50,000 円 (米山ランチ)	岡山備南RC.....109,000 円 (米山 BOX)
松江RC.....23,000 円 (米山ランチ)	岡山岡南RC.....101,287 円 (米山ランチ、米山 BOX)
出雲南RC.....31,350 円 (米山 BOX)	岡山丸の内RC.....38,343 円 (米山 BOX)
笠岡RC.....25,872 円 (米山ランチ)	岡山西RC.....108,000 円 (米山ランチ)
笠岡東RC.....23,400 円 (米山ランチ)	岡山西南RC.....292,905 円 (米山ランチ、米山 BOX)
岡山東RC.....180,000 円 (米山 BOX)	

特別寄付をいただいた方々

倉吉RC..... 岩世 毅、吉田圭子、亀井 理、笠見和則、小林健治、倉都祥行、中山貴彦、佐々木福一、清水成真、菅埜元晴、若原道昭、山田悌次、山崎一彰、吉田武章

鳥取西RC..... 吉田 博

笠岡RC..... 原田三代治

玉島RC..... 植村庸治郎

津山RC..... 苅田善嗣、河本秀生、佐野芳章、長谷川隆嗣、山本俊彦、吉田縉史、苅田裕也、橋本彰郎、松田欣也、山岡正知

津山中央RC..... 阿形寛昇、有本 稔、有本次男、萩原一雄、初川正子、直本倫幸、前原知明、松尾俊明、森木宏昭、野村昌平、小笠原卓宏、岡田敏文、坂田英輝、末田敬三、田口浩二、田口太馬男、寺坂磨哉、植月芳夫、山本 平

津山西RC..... 廣野勝彦、廣澤大祐、井上昭雄、松永 章、神谷英伸、森 宗柏、中村早百合、西本美枝子、野口泰俊、小椋章光、太田邦夫、太田洋一、坂野充典、下迫博幸、高矢満雄、谷口康子、内田光教、上山良二、山下正憲

玉野RC..... 小野 武

岡山備南RC..... 足立富郎、安藤道則、藤井孝洋、深田昭司、犬飼泰介、貝原千鶴、勝地拓之、河口亮一、河野一郎、倉本琇介、黒川善和、黒崎政彦、岡原洋介、岡本真樹、遠部雅弘、恩田英宜、坂川陽子、佐藤 昇、高戸賢一、上原和成、若林 学、山下一盛、吉永敏貴

岡山岡南RC..... 高戸正勝、柚木康司

岡山西RC..... 末吉誠一、臼井英治



謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



米村信哉
鳥取北RC

逝去日/2016年6月26日
享年/93
入会日/1971年2月6日

出席報告 (2016年6月)

クラブ名		Make-up後 出席率 (%)	ホームクラブ 出席率 (%)	例会数	会 員 数			
					7月1日	6月末	内女性会員	増減
第1グループ	智 頭	64.00	60.00	5	10	10	0	0
	倉 吉	98.28	81.90	4	57	59	2	2
	倉吉中央	90.74	76.85	4	23	24	2	1
	倉吉東	98.14	71.43	4	43	45	4	2
	鳥 取	99.16	77.63	4	58	59	3	1
	鳥取中央	69.17	69.17	3	39	40	0	1
	鳥取北	85.71	75.51	3	49	50	5	1
	鳥取西	86.52	73.76	3	48	49	0	1
	計 (8)	86.47	73.28	—	327	336	16	9
第2グループ	境 港	92.43	73.08	4	41	51	1	10
	米 子	83.95	57.97	4	65	68	3	3
	米子中央	87.01	77.69	4	39	35	2	▲4
	米子東	72.64	60.92	4	100	100	7	0
	米子南	90.43	76.96	4	59	61	4	2
	計 (5)	85.29	69.32	—	304	315	17	11
第3グループ	松 江	92.66	78.04	4	64	66	0	2
	松江東	90.12	80.25	4	62	62	1	0
	松江南	91.10	85.11	3	65	66	4	1
	松江しんじ湖	88.61	68.99	3	56	53	9	▲3
	隠岐西郷	93.18	65.91	4	23	23	0	0
	計 (5)	91.13	75.66	—	270	270	14	0
第4グループ	平 田	83.02	80.50	4	45	44	2	▲1
	出 雲	81.56	70.21	3	48	50	3	2
	出雲中央	82.66	78.61	4	46	44	3	▲2
	出雲南	95.77	76.47	3	64	64	7	0
	大 社	77.46	70.92	3	47	52	3	5
計 (5)	84.09	75.34	—	250	254	18	4	
第5グループ	江 津	78.72	75.89	4	37	37	2	0
	浜 田	85.65	75.00	4	55	56	1	1
	益 田	98.15	75.93	3	18	18	1	0
	益田西	89.23	74.62	5	28	26	2	▲2
	大 田	88.98	80.51	4	30	31	4	1
計 (5)	88.15	76.39	—	168	168	10	0	
第6グループ	井 原	85.03	77.01	5	41	40	2	▲1
	笠 岡	93.75	85.23	4	50	46	0	▲4
	笠岡東	97.50	87.50	4	39	40	1	1
	新 見	82.61	77.17	4	24	23	2	▲1
	総 社	79.07	72.44	4	35	31	6	▲4
	総社吉備路	82.81	82.03	4	32	31	2	▲1
	高 梁	86.39	80.47	4	43	39	0	▲4
	玉 島	89.58	86.46	4	26	26	1	0
	計 (8)	87.09	81.04	—	290	276	14	▲14

クラブ名		Make-up後 出席率 (%)	ホームクラブ 出席率 (%)	例会数	会 員 数			
					7月1日	6月末	内女性会員	増減
第7グループ	児 島	77.27	60.23	3	27	29	1	2
	児 島 東	86.27	64.71	3	20	16	0	▲4
	倉 敷	99.08	77.61	4	86	87	1	1
	倉敷中央	75.00	75.00	3	13	13	5	0
	倉敷東	95.65	90.43	3	38	43	3	5
	倉敷南	88.26	67.50	4	53	53	2	0
	倉敷水島	89.86	80.88	4	20	22	0	2
	倉敷瀬戸内	89.47	80.42	4	39	37	2	▲2
	計 (8)	87.61	74.60	—	296	300	14	4
第8グループ	真 庭	82.32	78.81	4	35	35	0	0
	美 作	81.10	80.31	4	34	31	1	▲3
	津 山	76.50	66.76	4	87	86	3	▲1
	津山中央	78.52	74.07	5	25	26	2	1
	津山西	86.51	86.40	4	32	31	5	▲1
	計 (5)	80.99	77.27	—	213	209	11	▲4
第9グループ	赤 磐	81.25	58.70	4	12	12	0	0
	備 前	71.55	64.68	4	57	58	8	1
	岡 山	83.60	69.15	5	111	105	1	▲6
	岡 山 東	91.58	85.95	4	96	97	0	1
	岡山北西	83.11	74.67	4	54	54	3	0
	岡山後楽園	82.59	72.22	5	52	53	0	1
	計 (6)	82.28	70.90	—	382	379	12	▲3
第10グループ	岡山旭川	86.51	72.18	5	24	27	2	3
	岡山中央	72.22	64.80	4	38	33	2	▲5
	岡 山 北	88.41	79.88	4	36	41	1	5
	岡 山 南	83.64	72.74	4	155	158	16	3
	玉 野	85.14	79.73	4	35	35	0	0
	計 (5)	83.18	73.87	—	288	294	21	6
第11グループ	岡山備南	91.74	88.07	4	33	32	2	▲1
	岡 山 城	87.62	81.90	4	24	25	1	1
	岡山岡南	70.83	64.21	4	29	24	3	▲5
	岡山丸の内	78.75	68.13	4	41	38	2	▲3
	岡 山 西	86.96	75.18	4	69	71	4	2
	岡山西南	91.98	79.52	4	57	53	3	▲4
	計 (6)	84.65	76.17	—	253	243	15	▲10

地区クラブ内の状況	クラブ数	66RC
	2015年7月1日会員数	3,041名
	2016年6月末日会員数	3,044名
	内 女性会員数	162名
	純増	3名
6月出席率	Make-up 後	85.68%
	ホームクラブ	75.05%

地区クラブ内の状況

クラブ数	66RC
2015年7月1日会員数	3,041名
2016年6月末日会員数	3,044名
内 女性会員数	162名
純増	3名
6月出席率	Make-up 後 85.68%
	ホームクラブ 75.05%

2015-16年度におけるRI表彰

◆ **クラブビルダー賞** 三宅 周 (総社RC)
山岡正知 (津山RC)

◆ **意義ある業績賞** 倉敷水島RC
「障害のある人との美術によるコミュニケーション《指導者養成セミナー》」

◆ **RI 会長賞**
G O L D 鳥取RC、出雲RC、岡山北西RC
S I L V E R 米子東RC
B R O N Z E 鳥取北RC、松江RC、出雲南RC、井原RC
高梁RC、倉敷南RC、倉敷水島RC
インターアクトクラブ 出雲西高等学校

国際ロータリー第2690地区 ロータリアンの皆さまへ

2014-15年度地区代表幹事 須山 鈴治

ご 報 告

2014-15年度松本祐二ガバナー年度の地区大会において、その記念事業として益田市へ「鮎のモニュメント」を寄贈する旨発表させていただき、益田市長へ目録を贈呈させていただきました。地区大会終了後設置する予定でしたが、益田市庁舎が耐震工事中のため設置ができませんでした。

このたび、ようやく工事が終了いたし設置の運びとなりました。5月18日(水)益田市庁舎の玄関横に設置して16時より除幕式が行われました。

参加者は益田市長・副市長・議長・副議長・議員・関係部課長・益田RC会員・益田西RC会員等多数の出席者のもと盛大に開催されました。

このことは、「山陰中央新報」に掲載され、地元ケーブルTVでも放映され、山陰地区および益田市民へ広報していただきました。

以上、設置が遅くなりましたが、報告させていただきます。



世界への
プレゼントになろう

2015-16年度
国際ロータリーのテーマ

2015-16年度
国際ロータリー会長
K.R.ラビンドラン

2015-16年度 地区ガバナー
佐藤 芳郎

〒700-0821
岡山市北区中山下 1-5-27 スカイパーキング 3 階
TEL : 086-201-2690
FAX : 086-231-9580
E-mail : sato-2690@ray.ocn.ne.jp

